

RX-78

～ to **X** people, who can **R**ealize your dreams and are **R**eliable. ～
夢を実現し、信頼される未知なる（可能性を持つ）者たちへ

北海道中標津高等学校
第 78 期一学年通信
2024(令和 6)年 10 月 18 日
第 14 号
文責 長谷川 敏美

科目選択希望（最終）締め切り

安易な選択をした人はいないと思いますが、ここでの判断が残る2年間の学校生活に影響を与えるものであるということを、再度示しておきます。まだ、不安が残る場合は、担任に相談しましょう。

学校生活における「三者」

「三者面談」の「三者」です。「生徒・保護者・先生（学校）」のことです。普段は、学生であるみなさんは学校に来て、先生方の授業を受け、放課後には部活動をして……という日常を送っていると思います。みなさんの生活を成り立たせる上で、三者がそれぞれの役割を持っています。

学生であるみなさんは、あなたの目的を達するために全力を尽くすことをイメージしていると思いますが、しばらくそれで良いです。全力で物事に取り組みましょう。一方、皆さんの保護者の方はどのような役割を持っているでしょう。高校の専門的な教育を、小学校や中学校の勉強のように「見えあげること」はなかなかできません。私は、入学式のとき保護者の皆さんにこうおねがいしています。

お子さんの衣食住の対応をしてほしい

と。厳密には、おおよそ裏面に示している通りの言葉を言っています。上記は、別の言い方をすると、「子どもの支えになってほしい」ということになります。みなさんを「支援する立場」が保護者の役割という見方もできます。

先生方は、主に授業などで「指導」しているということになりますが、皆さんの相談に乗ったり、活動が適正であるかチェックしたりすることもあるので、「指導・助言」をする役割ということができるでしょう。

このように、皆さんが高校生活を全うできるように、三者がそれぞれの役割を持って活動しています。皆さんの見えているところ・見えていないところで、保護者の方々はあなたを支えています。このことをあらためて認識してほしいと思います。

進学説明会について

4月下旬に進学説明会が行われて以降、中標津での進学説明会が開催されていません。先日、「予備調査」の案内をしました。企画・運営サイドの思惑はわかりませんが、

「人数が集まらないようであれば、中標津に行くのも何だなあ〜。」

という考えがあっても不思議ではありません。大学・専門学校も、利潤を追求します。効率的に近場で生徒を集められるのであれば、わざわざ中標津まで来るという考えを捨てることもありえます。「はじめから行く気がない」「目当ての学校がまったくない」のであれば、無理してエントリーする必要はありませんが、少しでも参加できる可能性があるならば、エントリーしたほうが良いです。

今まで、このような対応がなされたことはありませんでしたが、それだけ財政状況に余裕がないことが伺えます。したがって、今後、ポンポンと進学相談会が開催される可能性も低いと考えてよいでしょう。限られたチャンスを有効にとらえましょう。課外活動と重なっている人は、顧問と確認して、上記現状も示したうえで参加できるようにしたほうが良いと思います。保護者の皆様も当日会場で話を聞くことが可能なはずで、開催されることになり、当日参加が可能なようであれば、学校への電話（0153-72-2059）、もしくは、お子さんを通じてお尋ねください。

今年も2ヶ月半を切りました。寒くなってきたので体調管理に気をつけましょう。

入学式における学年主任挨拶

【改訂版】

本日は、生徒の皆さんの入学おめでとうございます。第78期生学年主任の長谷川と申します。

先ほど、入学式を終えまして、お子さんたちはこれからの高校生活に、期待と不安が入り交じっていることとされます。子供の状況と大人の状況が入り交じっている不安定な時期にある高校生にとって、今ここにいらっしゃるご家庭の方々が、大きな支えになっていると認識しております。

学年担任団を代表して、私から3つお願いがあります。

一つ目は、お子さんの「食」と「睡眠」を支えていただきたいということです。

すでに家庭で十分な食事の提供、夜更かしへのしつけはされてきたと思います。高校生になると、ついぞ「大人なのだから、大丈夫だろう。」とってしまうことがあります。しかし、実は体ができているようでまだできていないのが十代です。朝食・夕食の準備に加え、明日からお願いすることとなる昼食の準備は、大きな苦勞が伴うと思います。大変かと思われそうですが、お願いいたします。どうしても準備ができないときなどあるかと思われそうです。本校には購買がありますが、特にこの時期ですと、購入に戸惑ったり、出遅れて買い損ねたりすることもあります。お弁当の持参が無難です。

また、「睡眠」についてですが、みなさんも感じていることと思われそうですが、日本人は圧倒的に睡眠不足だと言われています。高校生ともなると、夜更かし自体に楽しみを見いだすかもしれません。昼夜逆転の生活になってしまったら、高校生活が破綻してしまいます。「食」も含めて、ご家庭でのお子さんの暮らしを支える対応をお願いします。

二つ目は、高校生としてのお子さんの「話」を聞いてあげていただきたいということです。ただし、お子さんの言葉を「鵜呑み」にしないでいただきたいということです。

高校入学後、部活動その他の活動が活発になると、お子さんと接する時間は今まで以上に少なくなると思われます。そうすると、家庭での会話の機会が減ります。少しでもよいので、学校の様子や進路のことなど、「聞く構えがある」というサインを出していただければ幸いです。返っている言葉が「ああ」とか「うん」とか「まあまあ」などの一言で満足されないで、いざというときに話が伝えられる環境を整えてくだされば幸いです。高校生活を送っていると、楽しいことよりも、不満を覚えることが多いと思われそうです。そのときに、お子さんの気持ちの逃がしどころとして、受け止めていただきたいと存じます。

気をつけていただきたいのが、「お子さんが学校のことを悪く言ったときに、同調して学校を悪く言うのは避けていただきたい」です。もし、お子さんが学校で、私たち教員に、ご家庭での不満をぶつけることがあったとして、保護者の方々を悪し様に言ったときに、私たちが生徒に同調して、保護者の方を悪く言ってしまった場合、一番傷つくのは子供です。同じ社会人として、子供の前で大人が大人を悪く言うのはよくないという共通認識に立っていただければ幸いです。

もちろん、お子さんの話を聞いて、「それはないのでは？」と感ずることがあると思われそうです。そのときは、お子さんに同調するのではなく、学校にお気軽に連絡くだされば、説明させていただきます。

三つ目は、朝の欠席その他の連絡は、0153-72-2059。こちらの番号へ連絡いただきたいです。使用する電話機の関係で、別の番号が表示されることがありますが、「2059」でお願いします。打ち合わせ中に職員室に直接電話がかかってくると、職員の思考が切られてしまいます。もし、お子さんに関わっての重要な話の最中だったら、一本の外線で乱されるのは受け入れられないと思います。ご協力のほど、よろしくお願いします。

私たちは、お子さんたちを、保護者の方や地域の方と手を取り合いながら見守り、健やかに成長する手助けを時には厳しく時には優しく接したいと考えております。この先、お子さんを待っているものは、楽なことばかりではないと思います。生徒の高校生活の前提として、ご家庭での大きな支えが欠かせません。お子さんが苦しい思いをしているとき、お子さんの心を支えていただきたいと存じます。

HR担任はじめ本校職員一同、全力を尽くしていく所存ですが、日々、何十人も生徒全員をくまなく見るにも限りがあります。至らないところもあると思います。そのときは、色々とお言葉をいただければありがたく存じます。

最後になりますが、2027年3月1日、本日ここにいらっしゃる皆さんと、本日来られなかった保護者の方とお互いに、生徒を祝福できる日になることを期待しております。三年間、何卒よろしくお願いいたします。

この後、私はHRにてクラスの生徒に挨拶いたします。保護者オリエンテーションの後、お時間がありましたら、保護者の皆様にも4階のHRに来ていただきたいと思ひます。それでは、失礼いたします。